

東日本大震災から10年 再びの恐怖

先日二月一三日にマグニチュード7.3、最大震度6強の大きな地震が福島県沖で発生しました。東京に住む私たちも大きな揺れを感じたと思います。二〇一一年の東日本大震災から来月三月一日で一〇年を迎えます。そんな中発生した今回の地震は、多くの人に一〇年前の震災を思い出させました。今回の地震による津波の被害は確認されなかったものの、

福島県相馬市内の常磐自動車道では土砂災害が発生しました。その規模は長さ七〇メートル、幅一〇メートル、高さ一五メートルにわたり、一時通行止めとなりました。この土砂崩れによる人的被害はないとされています。

国の文化財も被害を受けました。福島県や宮城県を中心に、国宝や重要文化財を含む七八七件で被害が確認されています。文化施設も大きな被害を受け、福島県郡山市の中央図書館では、外壁やガラスが崩落したり本棚が倒れて本が散乱したりしたため、懸命な復旧作業が続けられています。一〇年前の巨大地震を思い出させた今回の大きな地震は、東北の人々に強い恐怖を与えました。津波の恐れはないと報道された

ものの、一〇年前の津波の惨害を思い出した多くの人たちが高台に避難しました。

今回発生した地震は東北地方太平洋沖地震の余震と考えられています。二〇〇四年に発生したスマトラ島北部西方沖の地震では、地震発生から三カ月後、約二年半後、約五年半後そして約七年半後および約一一年後に海溝軸の外側の領域でいずれもマグニチュード7を超える大地震が発生するなど、震源域及びその周辺で長期にわたり大きな地震が発生しています。東北地方太平洋沖地震の余震活動は全体として徐々に低下している傾向にあるものの、一年あたりの地震の発生数は、東北地方太平洋沖地震の発生前より多い状態が続いています。

東日本大震災から一〇年という節目を迎える今、自分ができる災害対策を実行に移し、震災の教訓を生かしていくことが、日本に生きる私たちに必要となっています。(5年Y)

参考：福島民友新聞「郡山市麓山地区「文化施設」大きな被害 福島県沖地震、復旧続く」、地震調査研究推進本部 地震調査委員会「2021年2月13日福島県沖の地震の評価」

リモート防災訓練

現在のコロナ禍で、多くの人が集まり交流をするようになる防災訓練を行うことは大変難しいです。そんな中、距離を保ちつつみんなで災害に備えようという取り組みが行われています。今回はその一つである、リモート方式の防災訓練を紹介します。株式会社レスキューナウが展開するアドバイザリーサービス「リモート防災訓練」では、リモートワークなどに用いるweb会議を用いて防災訓練を行います。受動的に資料を受け取るだけでなく、チャットやアンケートで自ら擬似的に行動することになります。そのため臨場感は抜群、他の誰でもなく自分が行動するんだ、といった意識の向上にも繋がります。また、web会議の特性として、後から録画を見返すことができ、そのため反省点や改善点をより多く、細かく探し出したり、他人の良かった点をどんどん取り込んでいったりと、一度きりで終えてしまうのではなく次へ、その次へと繋ぐ役割も担えます。

情報化が進む社会、不自由を乗り越えてみんながまた笑い合えることを願って、リモート防災訓練に参加してみてくださいいかがでしょうか。(3年I)



参考：レスキューナウ「web会議方式 防災訓練とは」

電力需給が逼迫

簡単な節電方法

今年の冬は西日本を中心とした強い寒波の直撃と、コロナ禍による在宅時間の増加により全国で電力の使用量が急激に増え、供給が一時逼迫する状況が起きました。このような



景には電力の自由化と燃料のLNG化があると言われています。電力の自由化による消費者が自由に供給会社を選べるようになり、各電気会社の価格競争が促され値段が下がると言われています。また、LNGとは液化天然ガスのことを指します。石油、石炭に比べ扱いが難しく二ヶ月程度し

か貯蔵できず、余らせてしまうと膨大な損害が出てしまいます。つまり、自由化でコスト削減のためにLNGの在庫を減らしていた中で、需要が急激に増えたことよって電力が不足してしまつたという事態が起きました。今後このような事態を防ぐためにも私たちができる簡単な節電方法を紹介します。

①エアコン 冷房は二八度以上、暖房は二〇度以下が適温とされています。冷房を一度高くすると約一三パーセント、暖房を一度低くすると約十パーセント節電をすることができま

す。またサーキュレーターや送風機を使い、空気を循環させることも効果的です。

②冷蔵庫 冷蔵庫はものを詰め過ぎてしまうと冷蔵効率が下がってしまいま

す。逆に冷凍庫は物を詰め込むことによって凍った物同士で冷やし合い、冷凍効率をあげることができ

ます。また、冷蔵庫が壁などに接しているとうまく放熱できず、電力を消費してしまつので、五センチは開けるようにすると良い

です。

Home Energy Management System の略で、家の全ての家電などをネットワークで繋ぐシステムです。電力消費量を記録し、確認することができま

す。特にテレビの場合画面の明るく見えることもあります。電源を切った方が良いということも言われています。特別に古いものでなければほとんど消費電力は変わりません。

次に節電に役立つアプリとしてHMSというものを紹介します。HMSとは（5年）

防災支援隊って何？

Q 防災支援隊って何？ 他の委員会とは違うの？

A 活動の頻度はほぼ同じです。

A 防災支援隊は有志団体であり、委員会の一つでもあります。もともと有志団体だったものが生徒会組織に加わり、今の形になりました。他の委員会と違うのは、隊員数が無制限でいつでも入・脱隊できることです。

活動したり、資格を取りに行ったりしています。

Q 活動の頻度はほぼ同じですか？

A 定例会が週に一回あります。毎週火曜日に集まって活動計画や話し合い、必要な連絡などを行っています。場所は通常視聴覚室です。

Q 防災についてよく知りませんか。それでも入隊できますか？

A もちろん！ 隊員の中には入隊するまで防災活動をやったことがなかった人もたくさんいます。支援隊員として活動していくうちに防災に興味を持ち始める人がほとんどです。入隊しようか迷っている人はぜひクラス

の隊員は休みの日に大学の先生と

Q どんな活動をしているの？

A 「訓練の企画」「防災マップ作り」「防災テストの実施」「防災ゲームの考案」「広報活動」など様々です。熱心な隊員は休みの日に大学の先生と

クラスのお声掛けください。

モバイルバッテリーの火災と対処

近年、モバイルバッテリーの利用が多くなっています。モバイルバッテリーの多くは、内部に高効率で高出力のリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池は、電解液に燃えやすい物質を使用しているため、火災になると大変危険です。このモバイルバッテリーに起因する火災が急増しています。これらの火災には、使用しなくなったモバイルバッテリーを、一般ごみと一緒に捨ててしまい、ごみ清掃車内で押し潰され出火するものがあります。

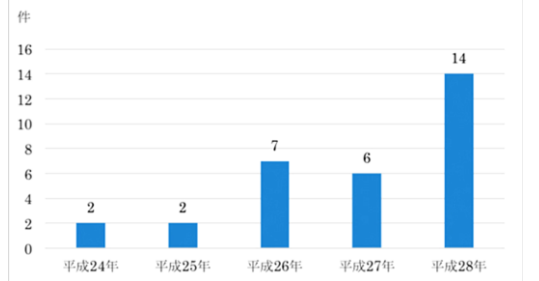
■ 小型充電式電池とは
充電式の電池は小型、軽量でありながら大容量の電気を蓄えられます。モバイルバッテリーなど

に用いられる小型充電式電池は、平成13年4月から資源有効利用促進法に基づき回収、リサイクルが実施されています。

■ 小型充電式電池のリサイクル

小型充電式電池で、回収の対象になっているのは、充電式のリチウムイオン電池のほか、ニカド電池、ニッケル水素電池、小型制御弁式鉛蓄電池の4種類で、リサイクルマークが表示されています。使用済み

モバイルバッテリーに起因する火災の件数（東京消防庁より）



の小型充電式電池は、イルバッテリーなど電器店、スーパーマーケット、ホームセンター等の排出協力店に持って行きましょう。JBRCのホームページから、近くで小型充電式電池を回収している排出協力店を検索できます。このように、モバ

火災時の避難

しまった人が多いのではないのでしょうか。火災時の避難行動についてまとめます。

① 校内での避難 校内で火災が発生した場合、出火している場所と避難先が放送されます。ここでは校庭に避難する場合には、原則教室から最も近い階段を利用して校庭へと向かいます。この時、火元が近い階段を利用するのは避けましょう。階段を下る際、混乱を避けるために通行区分が定められています。教室が高い階にある生徒は内側、低い階にある生徒はその外側を通して避難します。

昨年（2023年）は新型コロナウイルスの影響により校内で避難訓練ができませんでした。そのため避難時の行動を忘れてしまっている生徒も多いのではないのでしょうか。火災時の避難行動についてまとめます。

② 避難時の注意 火災時で最も危険性が高いのは、火災ではなく一酸化炭素を含む煙です。一酸化炭素は無色無臭の気体なので気づくことは困難です。しかし、一酸化炭素は比較的上の方の煙に多く含まれている傾向があるので姿勢を低くして避難することが重要です。もしも逃げ遅れてしまい姿勢を低くしても息苦しい場合は、通路や部屋の角の部分には空気が残っている可能性が高いので角に頭を近づけて避難するようにしましょう。

また、ハンカチやタオルなどを持っていく場合は折りたたんで口に当ててみましょう。ハンカチやタオルは煙を防ぐために口に当てるものであ

り、一酸化炭素を防ぐことはできません。皆さんは、「ハンカチやタオルは濡らした方がよい」ということを耳にしたことはないでしょうか。しかし、乾燥しているハンカチやタオルと濡れているハンカチやタオルでは、防ぐことのできる煙の量にあまり差はありません。また、ハンカチやタオルは濡らすことにより通気性が格段に落ち、息苦しくなります。さらに、火災時の避難ではいかに早く避難できるかが肝心です。ハンカチやタオルを濡らしに行くことに時間を使い、逃げ遅れてしまつては意味がありません。

五十年ほど前から東京都の火災件数は減少している一方で、火災による死者数はほとんど変化していません。もしも自分が火災に遭遇してしまつたとき、安全に避難できるように、日ごろから備えておくことが重要です。（3年Y）

タオルは煙を防ぐため

参考：防災システム研究所「火災発生時一煙の中の避難方法について」

平成の震災の歴史

平成の約三十年間では様々な震災が起こりました。三十年間の震災の歴史を紹介します。

① 平成元年から平成五年

平成五年に大地震が三つ起きました。釧路沖地震、能登半島沖地震、北海道南西沖地震です。北海道南西沖地震は奥尻町で最大震度6と推定され、マグニチュード7.8を記録。地震発生五分後に大津波警報が発令されましたが発令前に津波が到達しました。

② 平成六年から平成十一年

この期間は強大な地震が多発しました。北海道東方沖地震、三陸はるか沖地震、阪神淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震などが挙げられます。兵庫県南部地震は淡路島北部を震源とするマグニチュード7.3の大地震で、神戸市、淡路島、大阪市などの関西地方を中心に被害を与えました。死者行方不明者は六四〇〇人を越え、ピーク時の避難者は三十一万人を超えました。この震災を基に様々な防災知識が広まり始めたと思います。

③ 平成十二年から平成十七年

噴火による地震や連続した地震が見られました。三宅島火山活動と近海を震源とする地震災害や宮

城県北部連続地震、新潟県中越地震がありました。新潟県中越地震は震度7を記録し、地震のショックや避難生活のストレスで亡くなる人も少なくありませんでした。

④ 平成十八年から平成二十三年

この期間では、以前地震が発生した地域での再びの災害発生が見られました。例えば、能登半島地震、新潟県中越沖地震、岩手・宮城内陸地震、そして東日本大震災を引き起こした東北地方太平洋沖地震などが挙げられ、どれも震度6強以上を記録しました。特に東日本大震災はマグニチュード9.0という異常な数値に加え、巨大津波や原子力発電所の事故など様々な二次災害を起こしました。死者の九割が溺死によるものでした。

⑤ 平成二十四年から平成三十年

長野県神城断層地震や熊本大地震、鳥取中部地震、北海道胆振東部地震などが発生しました。熊本大地震では歴史的建造物の熊本城の石垣が崩壊し、胆振東部地震では土砂崩れの二次災害がありました。このように平成だけでも大地震が多発したことがわかります。このような地震は今後いつ発生するかわかりません。災害時に備えて我々は必要な防災知識を学ばなければなりません。(2年N)

快適な冬を過ごそう！

安全で効率的な雪かき

1・2月は雪が降る季節です。今回は普段あまり意識されていない雪かきの用具について紹介します。雪かきを効率的に行うためには、状態に合わせて道具を選ぶことが必要です。ここではどんな時にどのような用具を使用すべきか紹介します。

○ 軽くてやわらかい新雪の除雪

雪ハネ 雪かき 雪ペラ ジョンバ

柄が長いので、重い雪を持ち上げたり放り投げたりすると体に無理がかかり痛めやすいです。雪の重さや投げる距離に応じて柄の握る部分を替えましょう。硬い雪に対して使おうとすると雪を乗せるヘラが壊れます。

○ 汎用性が高いもの スノースコップ

スコップを使う際は腕の力だけではなく、足と腰の力を使うと効率的です。雪山からサイコロ状に雪を切り出すと

楽に雪を切り出せます。様々な材質の物がありますが、プラスチック製の物は硬い雪に対して使うと壊れるため注意して使いましょう。

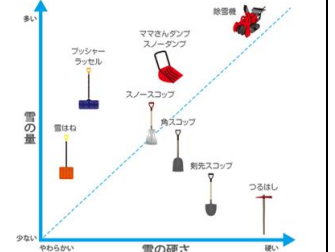
○ 雪をまとめて運ぶもの

プッシャー ラッセル

雪を持ち上げることなしに、雪を押し移動させるのに使います。降ったばかりの新雪や、ばらばらになったザラメ状の雪を移動させるのに便利です。

ママさんダンプ スノーダンプ

突き刺して雪をすくい、そのまま押し雪を運びます。雪が硬い場合はスコップで崩してからダンプに乗せます。これらの道具で雪を運ぶ時は、上半身に力を入れず、腰から進むのがポイントです。足で蹴ったりして強引に雪山に差し込むと、金具部分が壊れます。ダンプの底に口ウやワックスを塗ると、移動する際の滑りがよくなります。



○ 硬い雪 (Wインターライフ推進協議会より)

角スコップ 剣先スコップ つるはし

角スコップはスノースコップよりも丈夫で、比較的硬くしまった雪に使います。剣先スコップは角スコップでは歯が立たないようなさらに硬い雪に使用します。力任せに雪に突き刺すと体を痛めてしまうので注意してください。つるはしは春先の氷となってしまった雪を割るのに使います。

(4年I)